

東京都、新たに 8529 人感染 7 日平均で前週の 201.6%

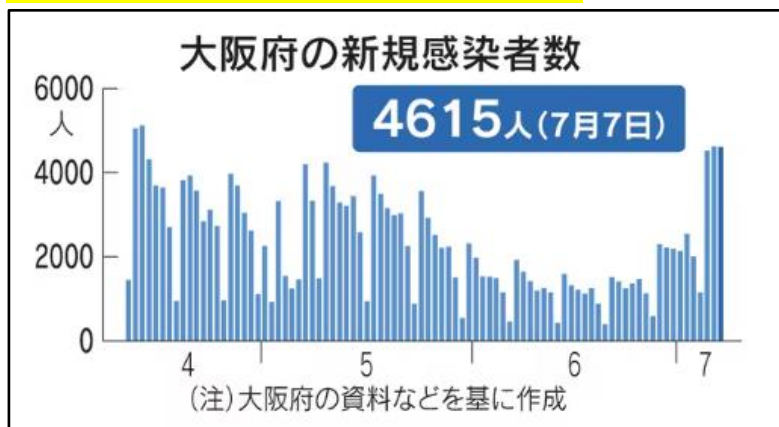
2022/7/7 日本経済新聞



東京都は7日、新型コロナウイルスの感染者が新たに8529人確認されたと発表した。直近1週間平均の新規感染者は約5127人で、前週(約2542人)の201.6%だった。累計の感染者数は163万4725人となった

重症者は前日に比べて2人少ない6人となった。新たな死者は確認されず、累計の死者数は前日と同じ4585人だった。

新規感染者を年代別に見ると、20代が2056人と最も多く、30代が1573人、40代が1348人と続いた。65歳以上の高齢者は543人だった。ワクチンの接種状況別では、2回接種済みが5416人、未接種は1611人だった。



大阪府は7日、新型コロナウイルスの新たな感染者を4615人確認したと発表した。感染者数は前週同曜日(2193人)と比べ、2422人増えた。4000人を超えるのは3日連続。新たに死者は確認されなかった。

7日時点の重症者は前日から1人増の5人で、重い持病などを抱える軽症・中等症患者らを含め重症病床(605床)の実質の使用率は4.5%となった。軽症・中等症病床には698人が入院しており、軽症・中等症病床(3704床)の使用率は18.8%となった。病床には、確保数を超えて実際に運用しているものも含んでいる。

新規感染者のうち、感染者と同居して症状があり、PCR検査を受けずに医師の診断で陽性と判断された濃厚接触者は58人だった。自宅療養者は2万461人。公費によるPCR検査などを1万8295件実施した。

Think! 多様な観点からニュースを考える >

※掲載される投稿は投稿者個人の見解であり、日本経済新聞社の見解ではありません。



鈴木 亘

学習院大学経済学部 教授



分析・考察 BA.5への置き換わりと、それによる感染増加は世界的な動きなので、やむを得ない面がある。ただ、若者の感染者が特に急増している背景には、様々な制限緩和で行動範囲が広がっていることの他に、若者のワクチン接種率が一向に伸びないことがある。7月4日現在の第3回の接種率は、10代が31.0%、20代が45.9%、30代が49.6%と、90%以上の高齢者と比べ、その差はあまりに大きい。前回のワクチン接種からの期間が長くなればなるほど、感染率が高まり、重症化する可能性も高まる。政府としては、ワクチン接種率の向上に今一度、本腰を入れなければならない。旅行割引の適用に、3回目のワクチン接種を条件としてはどうか。